

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社UMNファーマ 上場取引所 東  
 コード番号 4585 URL http://www.umnpharma.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)道下 眞弘  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)橋本 裕之 (TEL)045(263)9200  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	24	—	△1,497	—	△1,641	—	△1,166	—
24年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 △1,698百万円(-%) 24年12月期第2四半期 一百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	△158 58	—
24年12月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第2四半期の記載及び同期間との比較は行っておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	19,484	3,823	19.6
24年12月期	14,031	4,369	30.8

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 3,818百万円 24年12月期 4,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年12月期	—	0 00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	1,748.0	△1,900	—	△2,100	—	△2,000	—	△277 58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期2Q	7,651,700株	24年12月期	7,205,200株
25年12月期2Q	50株	24年12月期	—株
25年12月期2Q	7,353,741株	24年12月期2Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社は、平成24年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

#### 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年後半の政権交代以後、大胆な金融緩和策と新政権による経済政策への期待などから円安及び株価の上昇などが見られたものの、欧州の債務問題や世界経済の減速等の不安要素は解消されておらず、不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、「UMN-0502」（組換えインフルエンザHAワクチン（多価）、以下、「UMN-0502」といいます。）、「UMN-0501」（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1））、世界保健機関（World Health Organization：WHO）がH5N1とともにパンデミック発生の可能性を指摘しているH9N2亜型に対する「UMN-0901」（組換えインフルエンザHAワクチン（H9N2））及びウイルス性胃腸炎の主な原因ウイルスであるノロウイルス及びロタウイルスに対する「UMN-2003」（組換えノロウイルスVLP＋組換えロタウイルスVP6混合ワクチン、以下、「UMN-2003」といいます。）の開発に資源を重点的に配分し研究開発を進めてまいりました。

UMN-0502については、平成25年1月に技術導入元であるProtein Sciences Corporationの季節性組換えインフルエンザHAワクチン「Flublok®」が、米国食品医薬品局（Food and Drug Administration：FDA）より18歳から49歳までを対象として承認を取得いたしました。これにより、日東製薬株式会社との契約に基づき、マイルストーン・ペイメントを収受いたしました。また、アステラス製薬株式会社が、国内において実施した65歳以上の高齢被験者1,060例を対象とした第Ⅲ相臨床試験にて国内既承認孵化鶏卵ワクチンの免疫原性及び安全性と比較検討した結果、UMN-0502は国内既承認孵化鶏卵ワクチンに対し、免疫原性において非劣勢基準を満たすとともに、安全性に大きな問題がないことが確認されました。UMN-2003については、横浜研究所にて組換えノロウイルスVLP＋組換えロタウイルスVP6の原薬製造プロセスを確立するに至りました。

生産施設については、当社連結子会社である株式会社UNIGENが、平成24年2月に経済産業省「平成23年度国内立地推進事業費補助金」一次公募対象事業に採択され、平成24年3月より岐阜県揖斐郡池田町にて建設を開始した岐阜工場が、平成25年5月に竣工いたしました。その後21,000L主培養槽を用いたUMN-0502原薬の試験製造を実施し、商業生産スケールでの一定量のHAタンパクの精製が可能なことを確認いたしました。

また、新たな事業収益の柱とすべくアピ株式会社と推進しているバイオ医薬品受託製造（Biopharmaceutical Contract Manufacturing Organization）事業においては、平成25年3月に締結したアピ株式会社及び株式会社ヤクルト本社とのがん領域における複数の抗体バイオ後続品の研究開発及び商業化を共同で実施すること及びその基本事項について合意した意図確認書に基づき、平成25年6月に共同事業契約を締結いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、24,331千円となりました。一方、提携先と各開発パイプラインの研究開発、岐阜工場への設備投資を積極的に進めたことにより、営業損失は1,497,687千円、経常損失は1,641,025千円、四半期純損失は1,166,159千円となりました。なお、第1四半期連結累計期間において6,295千円の為替差益を営業外収益に計上しておりましたが、為替相場の変動により、第2四半期連結会計期間において5,397千円の為替差損が発生したため、当第2四半期連

結累計期間においては、990千円の為替差益を営業外収益に計上しております。

また、当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績に関する記載を省略しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が5,452,583千円増加し、負債が5,997,959千円増加いたしました。また、純資産は545,375千円減少いたしました。

総資産の増加5,452,583千円は、流動資産の増加518,273千円及び固定資産の増加4,934,310千円によるものであります。

流動資産の増加518,273千円は、現金及び預金が446,180千円、売掛金が108,225千円それぞれ減少したものの、原材料及び貯蔵品の増加381,913千円などによるものであります。また、固定資産の増加4,934,310千円は、建物及び構築物の増加5,924,039千円、機械及び装置の増加6,743,217千円、リース資産の増加494,136千円のほか、建設仮勘定の減少8,780,100千円などによるものであります。

負債の増加5,997,959千円は、流動負債の増加4,232,235千円及び固定負債の増加1,765,723千円によるものであります。

流動負債の増加4,232,235千円の主なものは、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加2,566,250千円、未払金の増加1,604,779千円であります。また、固定負債の増加1,765,723千円の主なものは、長期借入金の増加1,096,250千円であります。

純資産の減少545,375千円は、資本金及び資本準備金の増加654,100千円、四半期純損失1,166,159千円などによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、446,180千円減少し、3,436,763千円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失1,641,025千円や売上債権の減少額108,225千円等により、2,195,138千円の支出となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,991,735千円等により、3,013,324千円の支出となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入650,000千円及び長期借入れによる収入3,025,000千円のほか、株式の発行による収入651,487千円等により、4,762,283千円の収入となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、「平成24年12月期 決算短信」(平成25年2月13日付)で公表した数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,882,943	3,436,763
売掛金	108,225	—
仕掛品	—	4,184
原材料及び貯蔵品	33,979	415,892
前渡金	32,516	67,755
その他	132,595	783,936
流動資産合計	4,190,259	4,708,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,904	6,348,943
機械及び装置(純額)	81,904	6,825,122
工具、器具及び備品(純額)	118,434	215,614
リース資産(純額)	188,661	682,797
建設仮勘定	8,781,150	1,050
有形固定資産合計	9,595,055	14,073,528
無形固定資産	39,977	459,295
投資その他の資産	206,350	242,870
固定資産合計	9,841,384	14,775,694
資産合計	14,031,644	19,484,228
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	3,016,250
未払金	136,252	1,741,032
未払法人税等	22,629	16,884
資産除去債務	6,565	—
その他	50,752	124,268
流動負債合計	1,316,200	5,548,435
固定負債		
長期借入金	7,810,000	8,906,250
長期預り金	340,332	340,332
資産除去債務	13,591	166,548
その他	182,226	698,743
固定負債合計	8,346,150	10,111,874
負債合計	9,662,350	15,660,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,152,348	5,479,398
資本剰余金	4,821,348	5,148,398
利益剰余金	△5,662,131	△6,827,043
自己株式	—	△197
株主資本合計	4,311,564	3,800,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,075	17,991
その他の包括利益累計額合計	5,075	17,991
少数株主持分	52,652	5,371
純資産合計	4,369,293	3,823,918
負債純資産合計	14,031,644	19,484,228



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	24,331
売上原価	4,104
売上総利益	20,227
販売費及び一般管理費	1,517,915
営業損失(△)	△1,497,687
営業外収益	
受取利息	553
為替差益	990
その他	1,293
営業外収益合計	2,837
営業外費用	
支払利息	104,148
株式交付費	6,112
支払手数料	35,914
営業外費用合計	146,174
経常損失(△)	△1,641,025
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,641,025
法人税、住民税及び事業税	16,886
法人税等調整額	53,028
法人税等合計	69,915
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,710,940
少数株主損失(△)	△544,781
四半期純損失(△)	△1,166,159

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,710,940
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	12,915
その他の包括利益合計	12,915
四半期包括利益	△1,698,025
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,153,243
少数株主に係る四半期包括利益	△544,781

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,641,025
減価償却費	108,311
受取利息	△553
支払利息	104,148
支払手数料	35,914
株式交付費	6,112
売上債権の増減額 (△は増加)	108,225
その他	△765,446
小計	△2,044,314
利息の受取額	488
利息の支払額	△104,897
法人税等の支払額	△19,695
その他	△26,718
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,195,138</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,991,735
無形固定資産の取得による支出	△3,800
敷金の差入による支出	△18,292
その他	504
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,013,324</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	650,000
長期借入れによる収入	3,025,000
長期借入金の返済による支出	△12,500
リース債務の返済による支出	△45,507
株式の発行による収入	651,487
少数株主からの払込みによる収入	494,000
その他	△197
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,762,283</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△446,180</b>
現金及び現金同等物の期首残高	3,882,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,436,763

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。